

日本英学史学会 中国・四国支部
令和元年度 総会・第1回（通算80回）研究例会のご案内

拝啓 新緑の候、会員の皆様にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素より当支部の発展のために温かいご支援とご協力をいただき心から感謝申し上げます。

さて、令和元年度支部総会、及び第1回（通算第80回）支部研究例会を下記の要領で開催いたします。今回の研究例会では、研究発表が2件予定されています。皆様お誘いあわせの上ご参加くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。末筆ながら、会員の皆様のご健勝を心よりお祈り申し上げます。 敬具

日本英学史学会 中国・四国支部

日 時： 2019年5月25日（土） 12:30 受付開始
会 場： 安田女子大学 1号館 1404 教室（4階）
〒731-0153 広島県広島市安佐南区安東 6-13-1 TEL 090-1185-4814（会場担当 松岡携帯）
参加費： 会員、非会員とも無料

支部総会（13:20～13:50）

議長選出、前年度活動報告・会計報告・会計監査報告、役員選出、新年度活動計画、他

開会行事（14:00～14:05） 支部長挨拶

研究発表①（14:05～15:15）

「二羽の不死鳥 — 河合 茂と永原敏夫」 田中 正道（広島大学名誉教授）

<p>【概要】物資不足が極限に達した第二次世界大戦敗戦直後の国民生活の困窮ぶりを知る人は今では少なくなった。印刷用の紙もままならない中、広島高等師範学校ゆかりの2人の教育者が敗戦後8ヶ月あまりで中等学校第二、三学年の生徒ならびに英語独学者のための学習参考書をいち早く出版したことは驚異的と言える。本発表では、その『基礎英文法』にスポットを当て、すばやい「教育の復興」について話題提供を試みたい。</p>

研究発表②（15:30～16:40）

「外来語の系譜」 松岡 博信（安田女子大学）

<p>【概要】現在の日本語における外来語のルーツは様々に異なる。しかしながら、私が教える学生のほとんどは、外来語のルーツを英語だと思っている。にも関わらず、英語では「グラス」なのに、日本語では何故「コップ」なのか分からない。「カップを聞き間違えたのではないか」という英語教師までいる。本発表では、江戸時代までの漢学、幕末の蘭学、そして英学はもちろんのこと、それ以外を通して日本に伝来したものも含む様々な外来語について考察する。さらに、ゲルマン祖語からの言語分岐およびゲルマン語にのみ生じた第一次子音推移（グリムの法則）およびノルマン征服や日韓併合にまで言及して、日本語のみならず世界の外来語の系譜を辿りたい。</p>
--

閉会行事（16:45～17:00） 副支部長挨拶、写真撮影

懇親会（17:30～）

とり楽 毘沙門店（広島市安佐南区大町東 4-10-28 TEL 082-879-3166） 会費 3,500 円

【役員会の開催について】

支部総会に先立ち、11:30より役員会を開催します。正副支部長、理事の皆様はご参集ください。

【会場への交通案内】 安田女子大学ホームページ <http://www.yasuda-u.ac.jp/> をご参照ください。